山下先生の叙勲祝賀会の報告

作者： Administrator
2017年 7月 21日(金曜日) 15:52 -

山下先生の叙勲祝賀会の報告

作者： Administrator
2017年 7月 21日(金曜日) 15:52 -

秋田大学名誉教授　山下　秀　先生　叙勲受章祝賀会の報告

初夏を思わせるさわやかな日和の平成２９年６月３日（土）、東京都千代田区の霞が関ビル３５階にある東海大学校友会館において、山下先生の叙勲受章祝賀会が開催され、首都圏を中心に、北は札幌から西は大阪までの範囲から教え子など所縁の方々多数がお祝いに参集されました。
発起人有志一同を代表して伊藤正義(BS56)が報告します。

平成２８年秋の叙勲で、秋田大学名誉教授の山下秀先生が瑞宝中綬章（教育研究功績）を受章されたことを知った我々教え子は、それぞれの恩義（先生のご自宅まで押しかけて家庭的な雰囲気でそれぞれの将来の夢などを語らせていただいたこと、仲人を引き受けていただいたこと等々）を思い出し、発起人有志一同で祝賀会を企画しました。
当初、秋田での開催も考えましたが、より多くの参加者が集いやすい場所ということで、東京で開催することになりました。

発起人有志一同
民谷恭男(BS49)、山内　優(BS51)、清水篤人(BS53)、伊東清文(BS57)
佐藤雅典(BS58)、五十嵐進(BS61)、熊谷智文(BS62)、今井忠男(BS63)
瀬尾隆男(BS63)、藤田健司(BH2)、立松博樹(BH5)
伊藤正義(BS56 代表)、上木隆司(BS56 事務担当)

山下先生の御功績
山下先生は、昭和１２年１月に北海道でお生まれになり、昭和３６年３月に北海道大学工学部鉱山工学科を卒業、昭和４１年３月に北海道大学大学院工学研究科鉱山学専攻博士課程単位取得退学後、同年４月に北海道大学に奉職、昭和４８年４月に北海道大学助教授から秋田大学助教授に転任、昭和６２年４月に教授に昇任され、平成１４年３月に退官されるまで、鉱山学部採鉱学科から工学資源学部地球システム工学講座までの岩盤研究室で研究と学生の指導にあたられ、平成１４年４月から秋田大学名誉教授として今日に至ります。この間、平成１０年９月から平成１５年８月まで、中南工業大学（中華人民共和国）の客員教授をされました。
研究成果としては、創世記にあった岩石力学の分野において、特に岩石破壊機構の解明に取り組まれ、大学に大型計算機が導入された当時から計算機による岩盤構造物の安定性解析・評価方法に関して研究・提案され、また、岩石破壊過程に関してＡＥ計測を併用する実験を行って特に降伏点（塑性すべり開始点）存在を明確にされ、これを下に長期載荷／クリープ過程における強度劣化（破壊への接近性）を評価する新しい方法を提案され、世界的評価を得られるとともに、これらの成果を現場に還元・実践されたことなどであります。
昭和５４年４月から秋田大学計算センターの発足に際して、運営委員・運用主として機種選定の仕様書策定から実導入、運用に関する規約作り等々、計算センター運営の実責任者を務められるとともに、情報処理センターの設置後には第３代の情報処理センター長としてその運営・管理に尽力するなど、秋田大学における情報処理設備の充実や利用環境の整備・普及に多大な貢献をされました。この間、東北大学大型計算機センターの運営委員も兼務され、学内外での大型計算機の利便性の向上に貢献されました。
また、昭和４８年４月から平成９年３月までの四半世紀の間、海外鉱業研究会の顧問として、第１２次（ホンジュラス、ペルー、ブラジル隊）から第１５次（オーストラリア隊）までの海外実習を支援するなど、学業を離れても学生と深く交流されたほか、海外からの留学生や研究生を積極的に受入られ、日本（秋田）の暮らしに早く馴染むように奥様ともども公私にわたりご支援されました。

祝賀会の模様
祝賀会は、上木隆司(BS56)の総合司会の下、伊藤正義(BS56)の式辞、発起人有志総代の民谷恭男(BS49)による挨拶・乾杯で祝宴が開始されました。
山下先生のご挨拶に引続き、先生ご夫妻から仲人をしていただいた花嫁代表から先生ご夫妻への花束贈呈がなされ、その後、山下先生に所縁の方々からご挨拶を頂きました。
最初は、元衆議院議員の川口博氏、先生の指導を受けた十和田石の採掘場の中野産業㈱の社長の御子息、山本茂樹氏、実験装置の前に立つ鉱山学部最強の文部技官でおわす川辺金光氏、岩盤研究室の後継者、今井忠男(BS63)と続きました。
次に、中野産業(株) 取締役社長　中　秀男氏、佐藤好幸（BS56 秋田市消防長)、大淵　亮(BH8 秋田工業高等学校 教諭）他多数から寄せられた祝電が披露されるなど、終始和やかな雰囲気の下で祝宴が進行しました。中には、卒業以来４０年ぶりの再会という同級生もおり、あちこちで懐かしい思い出話や近況報告などの話の輪ができました。その後、卒業年次の若い順に参加者全員が１分間スピーチを行い、会場予約時間を３０分延長し、狩野一憲氏(BS42)の閉会挨拶で名残惜しくも閉会となりました。

なお、祝賀会には、以下のお志を頂きました。

一、山下先生から　秋田の酒　　純米大吟醸「天功」２升
「刈り穂大吟醸」２升
燻りガッコ（参加者毎２本）
新宿中村屋謹製 銘菓 うすあわせ(菊の御紋入り)(毎１箱)
岩石破壊に関する研究の論文集、思い出写真のＣＤ－Ｒ
金一封　壱拾萬円
(注)金一封については経費精算後、ほぼ同額が残ったことから、
山下先生の御厚志として海外鉱業研究会に寄付しております。

二、中野産業㈱から　　十和田石製　マウスパッド（参加者毎１）

三、野村貴弘(BS58 JXTGｴﾈﾙｷﾞｰ㈱ﾖﾊﾈｽﾌﾞﾙｸﾞ事務所)から
スパークリングワイン紅白各１本

北光会の会合には珍しく、ご夫人も多数参加され、中には親子二代の参加も複数ありました。これは、山下先生と奥様の人柄、人との縁を温かくつむいで来られた証ではなかと感じ、改めて、山下先生の教育者としての偉大さとともに、奥様から内助の功の具体例を御教授いただけたことに厚く感謝した次第です。期せずして「よく聞け、金を残して死ぬ者は下だ。仕事を残して死ぬ者は中だ。人を残して死ぬ者は上だ。よく覚えておけ」という後藤新平の言葉を思い出す機会となりました。

作者： Administrator
2017年 7月 21日(金曜日) 15:52 -